



SDGsの達成に貢献する 名古屋高速道路公社の取り組み



名古屋高速道路公社では、経営理念において、いつでも「安全」「安心」「快適」な道路サービスを提供し、地域社会を支えることを目指すと掲げ、事業を行っています。

SDGsは、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり、その目指すところは、名古屋高速道路公社の経営理念と重なり合うものであります。

このことから、名古屋高速道路公社では、経営理念を具体化し実現するため、取り組みに注力している「中期経営計画（2019-2021）」とSDGsの各ゴールとのつながりを明確にし、計画に定める施策を推進することを通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

また、社内に「SDGs推進チーム会議」を設置し、SDGsに関する理解・浸透及び意識向上を図るとともに、SDGsの達成に貢献する取り組みを着実に進めます。さらに、これからもSDGsの達成に向けて、積極的に取り組み内容の充実や拡大に努めていきます。

経営理念

基本理念

いつでも「安全」「安心」「快適」な道路サービスを提供し、
地域社会を支える名古屋高速を目指します。

基本方針

- I 都市交通施設としての役割を果たし、元氣な「名古屋都市圏」づくりに貢献します。
- II お客様を第一に考え、安全・安心・快適な利用環境を提供します。
- III 効率的で透明な事業運営に努め、創意工夫と自己研鑽で常に進化を続けます。

中期経営計画（2019-2021）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



・SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

（外務省HPより）

「中期経営計画（2019-2021）」とSDGsとの関連

(1/3)

第1章 さらに使いやすい名古屋高速 ～元氣な「名古屋都市圏」づくりへの貢献～				
取組項目	目標 (取組内容)	2021年度※	取組項目に 関連するSDGs	
		1 都心へのアクセスの向上		(1) 都心へのアクセス向上の取組み 名古屋駅周辺交通基盤整備方針に示された出入口等の追加・改良等の事業化 (2) 高速道路ネットワークの更なる充実 「南渡り線」の事業化に向けた検討及び関係機関等の協議・調整
2 ネットワーク機能の発揮	(1) 名古屋JCT建設工事の着実な推進	目標1 名古屋西JCT整備完了	2020年度整備完了	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
3 より利用しやすい料金	(1) 新たな料金体系への取組みの推進	お客様がより利用しやすい料金体系の実現		1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17
第2章 さらに確かな名古屋高速 ～安全・安心の徹底～				
取組項目	目標 (取組内容)	2021年度※	取組項目に 関連するSDGs	
		1 更なる交通安全対策の実施		(1) 交通安全対策の継続的な実施 目標2 総事故件数 750件 目標3 死傷事故率 5.6件/億台キロ ※死傷事故率：1万台の車が1万km走行した場合に起こる死傷事故件数を表す指標 (2) 逆走車や歩行者等の立入対策の実施 目標4 対策箇所数 15箇所 (3) 交通安全啓発活動の実施 各季の交通安全運動を始めとする交通安全啓発活動の実施
2 大規模修繕の着実な推進	(1) 大規模修繕計画に基づく事業の推進	目標5 大規模修繕完了延長率 60% ※大規模修繕完了延長：大規模修繕対象量（37.9km）のうち、床下下面からの修繕が完了した供用延長の割合	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17	
3 維持管理の高度化・効率化と着実な点検・修繕	(1) 新技術を活用した維持管理の高度化・効率化	目標6 ICT等の活用による道路構造物の維持管理の高度化と効率化	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17	
	(2) 着実な点検の実施と点検の精度向上	目標7 橋梁の点検率 54% (累計)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17	
	(3) 計画的な維持修繕工事の実施	目標8 道路構造物保全率 90% ※道路構造物保全率：早期に補修を必要としない橋梁数（程開数）の割合（大規模修繕対象路線を除く）	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17	
	(4) 快適な走行を提供する舗装の修繕	目標9 快適走行路面率 97% ※快適走行路面率：舗装路面延長のうち、高速走行でも快適で安定した走行が可能となる舗装路面が占める割合	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17	
	(5) リフレッシュ工事の実施	目標10 交通規制が必要な作業を集約した「リフレッシュ工事」の計画的な実施	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17	
4 道法違反車両に対する取締・指導の強化	(1) 取り締まりの強化	目標11-2 愛知県警高速道路交通警察隊との合同取り締まり回数 6回	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17	
5 南海トラフ地震を始めとした自然災害への対応力向上	(1) 災害時の業務継続に向けた防災拠点整備の推進	目標9 受変電施設の津波浸水対策完了（短期） 2019年度対策完了済	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17	
		目標10 整備部社屋の改修 2020年度改修完了		
	(2) 実践的な訓練による災害対応力の向上	目標11 防災拠点の電源確保 供用開始		
		目標12 各種訓練の実施 実施		




※表中に特に記載のあるものを除く




第3章 さらに走りやすい名古屋高速 ～快適さとサービスの向上～			
取組項目		目標 (取組内容)	2021年度※
1	継続的な渋滞対策の推進	目標13 (1) 都心環状線の渋滞対策	都心環状線の渋滞損失時間 19.5万台・時
		(2) 小牧北出口、一言真出口、一言10連絡路における渋滞対策	渋滞要因の調査・分析及び関係機関との協議等
2	交通事故・工事に伴う渋滞の削減	目標14 (1) 交通事故処理に伴う渋滞時間の短縮	交通事故処理に伴う渋滞時間 68分以内/件
		(2) 工事に伴う渋滞の発生及び影響の軽減	目標15 工事に伴う渋滞時間 40時間/年
3	雷水対策の強化	(1) 降雪・積雪時等の通行確保の強化	監視体制強化による雷水作業への迅速な対応及び早期の入口閉鎖等
		(2) 雷水作業の効率化	目標16 雷水作業の効率化の推進 実施
4	道路交通情報提供の充実	(1) 道路情報板の視認性向上	目標17 道路情報板の大型マルチカラー化 53% (累計)
		(2) ET02.0の普及促進	目標18 ET02.0利用率 25% (累計)
5	お客様とのコミュニケーションの推進	(1) お客様の声の反映	お客様ニーズに基づいたサービスの充実と改善
		(2) お問い合わせへの的確な対応	お客様センター等におけるより速やかで適切な応答
		(3) 料金所サービスの向上	お客様への接遇の向上と迅速で正確な料金収受の確保
		(4) お客様満足度の向上	目標19 総合満足度 3.80以上 ※総合満足度：お客様満足度調査による5段階評価の点数
6	自動運転への対応	(1) 自動運転の実用化・普及への適切な対応	自動運転の技術開発に関する調査研究・協力




※表中に特に記載のあるものを除く









第4章 社会的責任の遂行			
取組項目		目標 (取組内容)	2021年度※
1	工事の品質確保と安全管理	(1) 施工プロセスの着実な実施	工品質を確保するためのPDCAサイクルに基づいた施工プロセスの着実な実施
		(2) 品質確保に向けた契約制度の改善	目標20 入札参加資格の見直し、低入札時の対応強化実施 実施 2019年度低入札時の対応強化実施済
		(3) 工事事務防止に向けた安全管理の推進	各種安全パトロールの計画的な実施及び安全管理アドバイザー会議等の実施
2	環境保全への取り組み	(1) 道路照明LED化の推進	目標21 道路照明LED化 39% (累計)
		(2) エコドライブ啓発活動の実施	”環境にやさしい”名古屋高速道路の積極的な利用及びやさしく静かな運転の心がけ等の呼びかけ
3	事業運営の信頼性向上	(1) コンプライアンス等の徹底	目標22 コンプライアンス等に関する意識度 100%
		(2) 情報セキュリティの強化	目標23 情報セキュリティに関する意識度 100%
4	地域社会との共生	(1) 自治体や大学等への技術提供・情報発信	社会基盤整備の役割や重要性、技術者としての心構えなどの伝承
		(2) ネットクス・プラザを活用した地域社会との交流	目標24 ネットクス・プラザ利用団体数 70団体以上
5	積極的な情報発信	(1) 多様な媒体による情報発信	ホームページ・SNS・ラジオ等の媒体を効果的に用いた、名古屋高速に関する様々な情報の提供
		(2) 設立50周年記念事業の実施	目標25 50周年史の発刊 発刊

第5章 経営基盤の強化

取組項目		目標 (取組内容)	2021年度※
1	～財務基盤強化・経営合理化～ コスト削減・効率化と戦略的な資金調達	(1) 予防保全等による構造物の長寿命化	ライフサイクルコスト低減による大規模修繕等の着実な実施及び技術基準の見直し
		(2) 効率的な維持管理	新技術の積極的な活用による維持管理コスト増大抑制のための効率的な維持管理の実施
		(3) 工事関係書類等の削減	目標26 工事関係書類等の削減の実施 実施
		(4) 積算業務の効率化	主要資材の適正単価の採用、積算基準の見直し／新積算システムの構築
		(5) 光熱費の削減	道路照明及び整備部社屋改修に合わせた事務所照明のLED化による消費電力量の削減
		(6) 戦略的な資金調達	目標27 個別投資家訪問数 50件以上
2	～組織基盤強化～ 職員と組織の能力発揮	(1) 職員の人材育成及び技術力等の向上	目標28 公社業務に関連した資格取得者数 15名以上 (累計)
		(2) プロジェクトの推進を図るための組織づくり	重点的な人員配置及び能動的・効率的な組織づくり
		(3) ワークライフバランスの推進	目標29 年次休暇の平均取得日数 14日
3	～事業推進基盤強化～ 確実な事業推進	(1) 重要施策間の連携強化	事業調整会議による工程等の共有及び一体的な調整・課題解決

※表中に特に記載のあるものを除く